

新駅問題対策特別委員会 委員長報告

(平成23年3月 3日報告)

新駅問題対策特別委員会の報告をさせていただきます。

本委員会は、付託審査事項であります「新幹線（仮称）南びわ湖駅設置についての今後の対応について」を審査するため、閉会中の2月22日 午前9時30分から、説明のため、市長、関係部長、関係課長の出席を求め、開催いたしました。

それでは、2月22日の審査について、質疑を行いました主なものをご報告申し上げます。

1点目として、「今日までの取り組み経過」について あります。

委員から ①後継プランの推進に係る四自治会との協議でどのような意見が出たのか。 ②知事との懇談の内容と知事が今後栗東市にどのような対応をされるのか。県職員の市役所への駐在はどうなるのか。

との質問があり、当局から

①平成21年度末から平成22年度にかけて各自治会に後継プランを説明しており、明確に説明会で答えられなかった部分については、一堂に集まっていた中で書面により回答した。後継プランの実施は責任をもって取り組みをさせていただく。

②後継プランの事業について、知事は必要な事業であり進めてくださ

い。と言うものの負担については、これから一緒に汗を流しましょう。
でとどまっているので、知事とは定期的にそういう話を進めていく。
県職員の駐在は1名専従配置すると聞いている。
との答弁がありました。

また、2点目の新幹線新駅関連の「寄付金等の取り扱い」については、
当局より一部寄付金の返還の申し出があったとの説明がありましたが、
質疑はありませんでした。

次に、3点目として「まちづくり基本構想（後継プラン等）の進捗状況」について あります。

委員から ①蜂屋手原線の北側から蜂屋集落まで田が残っているが、
現在の用途地域と将来はどのように活用するのか。また、リチウムエナ
ジージャパンを核とする関連したまちづくりについて、市はどのように
考えているのか。

②蜂屋手原線と国道8号との接合部分は現在どのようにになっているの
か。

③6月にリチウムエナジージャパンの建屋が完成され、大型車両の出
入りが出てくるが、今の道路進捗状況で迷惑をかけず通行できるのかど
うか。また朝夕、県道栗東志那中線が混雑しているが、都市計画道路が
完成しないと益々混雑するのではないか。

との質問に対し当局からは、

① 10ヘクタール強の空地が残っており、用途地域は準工業地域であ

る。現在ゾーン分けをし、地権者の意向アンケート調査を実施しており、今後土地活用の提案を行いながら、地元と地権者と共に計画策定をする。まちづくりについては、企業立地促進法により集積区域に指定しており、優良企業が来る土地活用をめざしている。リチウムエナジージャパンの誘致による雇用が生まれ、その波及を踏まえた土地活用が考えられる。地元の意向を踏まえ調整を進めていく。

②国道8号の部分は物件移転調査を実施しており、今年度末に調査額の算定ができ次第、地権者と交渉をする。

③都市計画道路の完成が間に合わないので、仮設道路の活用で交通形態の確保を図り、県道及び国道からの出入りが出来るようにする。県道栗東志那中線の交通渋滞は、現在県で検討されており今年度末頃に計画を提示されると聞いている。

との答弁がありました。

次に、4点目として「企業誘致」について あります。

委員から①工場誘致条例の改正により、新たに立地する企業件数及び財政面でのシミュレーションは出来ているのか。

②調整区域内では、企業の事業規模拡大に伴う工場棟が建てられない。優良企業が市外に転出せず市内に残り、税収増大できるよう、調整区域内でも工場増設ができるように規制緩和はできないのか。

③地元雇用30%の約束の担保について、トップセールスでの対応は。

との質問に対し当局からは、

①新しい企業の誘致も大切だが、市内企業の増築についても優遇措置

を設けている。優遇措置の期間延長に伴う企業立地件数のシミュレーションはしていないが、企業立地促進法による基本計画に基づき企業立地を図る。

②市街化区域及び市街化調整区域の線引きの見直しについては、概ね10年に一度大津湖南都市計画区域の中で計画的な見直しを行っており、必要な場合には、区域区分の見直しを計画的に行う。

③誘致企業への要請により、相手側から地元雇用について努力すると回答を得ている。今後採用情報の共有化を図り対応する。

との答弁がありました。

委員会としては、市当局には更なる企業立地の促進を図り、地元雇用の創出並びに税収確保に向け、より一層の努力をしていただくよう要望いたします。

当委員会は、付託を受けております「新幹線（仮称）南びわ湖駅設置についての今後の対応について」の審査については、採決の結果、賛成多数で終結すべきものと決しました。

最後に、審査にご協力をいただきました関係者の皆様方に厚く御礼申し上げ、当委員会の審査結果の報告とさせていただきます。